百し早やく職工を従業せしめるとゐふ名目のもとに書面並に行罷業職工の復職勧誘をなしつゝあるも爭議團側の結束を妨害し外固く今日迄の復歸者僅かに百七十名内外で現在の処では毎日復職者七名内外あるも復職し行法うの狀態で十九日幹部と思ひすゝ者十人名内容記明書にて解雇を申し渡し暗に復職せざる者は謝恩解雇をすゝめしことを知らしめ罷業團に動揺を示したるも効果無し今日では社会も罷業團より復職者續出する事に對し期待せず爭議團の紙束固めと男鬼の要化したる事に驚きたる様子にて二十五六日迄に出切出し金力を盡し二十六七日は最後の手段として全員解雇の擧に出ずる決心なる旨社会は流る高合社側は最初の決心通り大幹主事役業は大野社長に処置を一任し居るが四五日首或る大幹主より幹主總會を開きて爭議に對する今後の對策を決定しては如何との建言ありしも社会は總会を開く時は今日迄の主張に多少弛緩を来たす恐れあると爭議團側よりの宣傳の具に供せらるる恐れあるとなし之れを拒絶す尚社会は某代議士に社会會長に流産し長に面会の上浜松市に共産主義を奉ずる男鬼要化せる代議會が発生なる職工を煽動し爭議を起さしめ今や浜松市の産業は惨憺出さんとし市民は戦々恐々たる狀態なるに社会は一度も浜松の爭議に對しては調査すること無く